

国土交通省
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成20年11月6日
【取り扱い】発表をもって解禁

中越沖地震で被災した堤防の開削調査を実施します

平成19年に発生した新潟県中越沖地震により、信濃川河川事務所管内では堤防が被災し、亀裂等が生じましたが、その後の応急復旧・緊急復旧事業により復旧がなされ、洪水に対する安全を確保してきたところです。

その中でも長岡市寺泊町軽井地先は被害が顕著であり、堤防の亀裂や沈下、堤防や周辺地盤での噴砂の発生状況から、液状化を起因とした被災であったと考えられています。

同地先では、地震による再度災害を防止するため、今年度から本格的に堤防の災害復旧工事として液状化対策を実施しており、地盤改良時の堤防開削にあわせ、堤防の被災原因及び被災メカニズムを解明するための現地調査^{*1)}を実施することとしましたのでお知らせいたします。

日時：平成20年11月13日（木）14：30～

場所：長岡市寺泊町軽井地先信濃川左岸堤防

なお、国土交通省の職員、長岡周辺の教育機関等が参加予定です。

※1）現地調査では堤防開削断面における亀裂の到達深度や発達状況、堤体下部からの噴砂の上昇（砂脈形状）などの調査を行い、堤防の被災原因及び被災メカニズムの解明に役立てます。

（別添資料）

①調査位置

②長岡市寺泊町軽井地先の中越沖地震での被災状況

③開削調査のイメージ（中越地震で被災した長呂地先での調査実施状況）

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会
週旬刊記者会（長岡）

【問い合わせ先】

北陸地方整備局信濃川河川事務所 電話：0258-32-3020

副所長（技術） 増田 孝幸

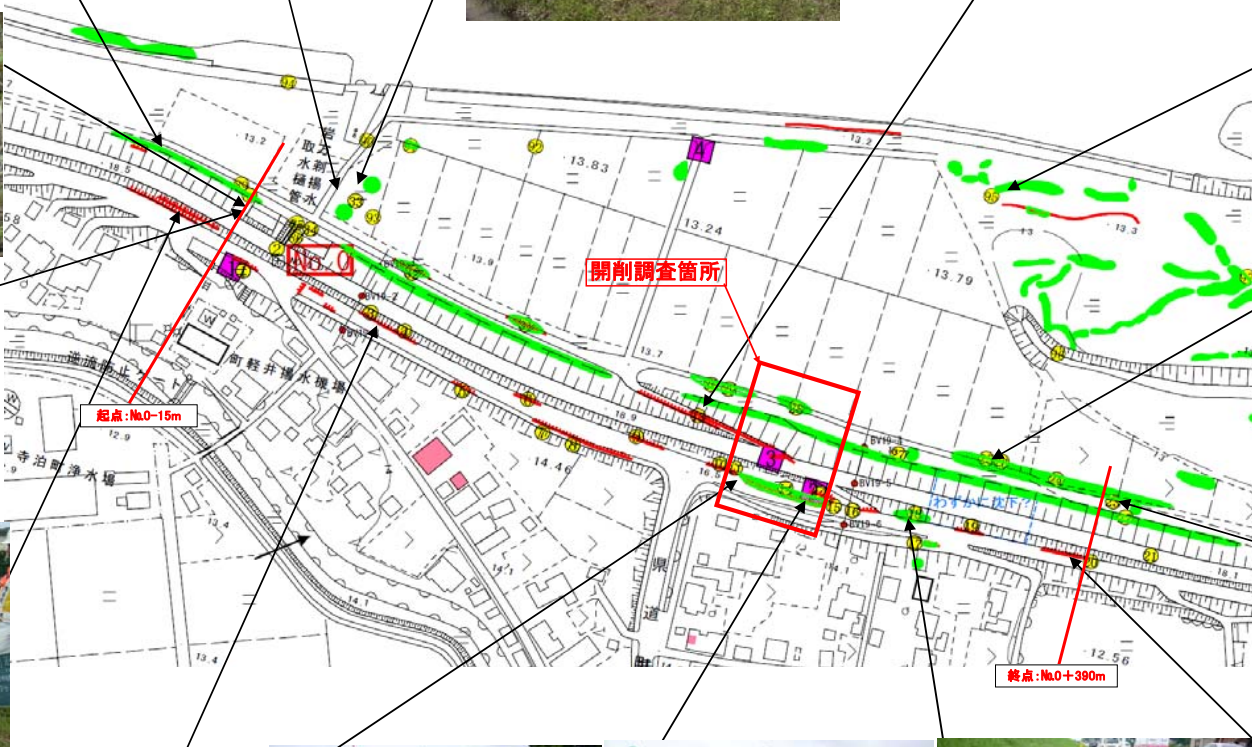
調査課長 大作 和弘

中越沖地震で堤防が被災した長岡市寺泊町軽井地先



資料② 長岡市寺泊町軽井地先の中越沖地震での被災状況

長岡市町軽井地先 クラック・噴砂状況図



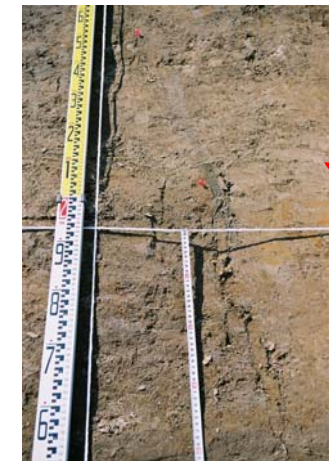
- 亀裂
- 噴砂跡
- ④ 写真撮影位置
- 屋根が破損している家屋
- 高所作業車による撮影位置



資料③ 開削調査のイメージ（中越地震で被災した長呂地先での調査実施状況）



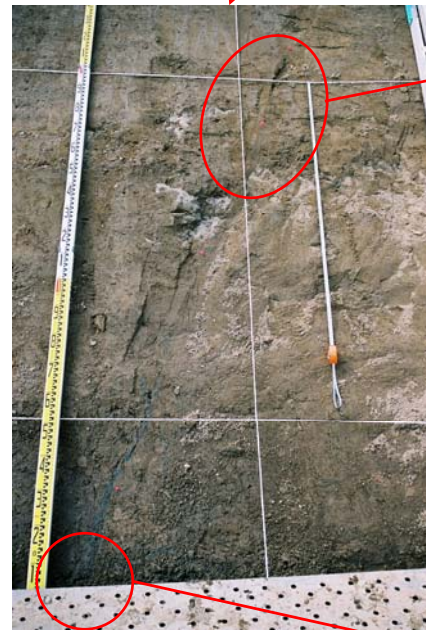
小段頭部に数箇所認められる亀裂



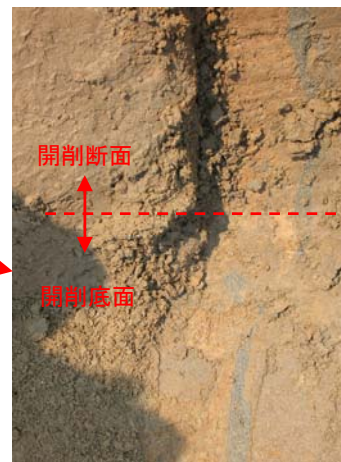
開削底面より約2m上まで認められる砂の貫入



堤体の陥没により発生した亀裂に液状化した砂（暗灰色）の貫入が認められる



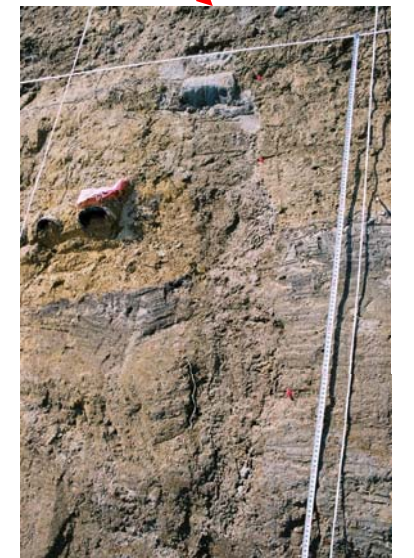
開削底面より約2m上まで認められる砂の貫入



開削断面から開削底面に連続する砂の貫入



小段下部の亀裂



光ファイバー横の最大開口亀裂（開口幅約20cm）



堤体下部の亀裂